

都市再生整備計画 事後評価シート(原案)

赤間地区

令和7年11月

福岡県宗像市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県		市町村名	宗像市		地区名	赤間地区			面積	143ha		
交付期間	令和2年度～令和6年度		事後評価実施時期	令和7年度		交付対象事業費	217百万円	国費率	0.45				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	公園(熊越池公園再整備事業)、地域生活基盤施設(赤間文教町地区地域防災施設整備事業、赤間地区地域防災施設整備事業)										
		提案事業	事業活用調査(事業効果分析調査)、まちづくり活動推進事業(防災学習事業)										
		事業名					削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路(陵厳寺24号線等道路改良事業)			中学校の配置計画変更に伴い、整備箇所を変更したため事業削除			影響なし				
		提案事業	まちづくり活動推進事業(特別支援教育強化事業、大学連携強化事業)			特別支援教育強化事業・県立古賀特別支援学校と市立学校の連携強化により、専門知識等の共有が可能となったため事業削除 大学連携強化事業・連携コーディネーターを本市職員として配置することに伴う事業削除			影響なし				
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(赤間14号線道路改良事業)			中学校の配置計画変更に伴い、陵厳寺24号線等から整備箇所を変更したため事業追加			影響なし				
		提案事業											
	交付期間の変更	当初	令和2年度～令和6年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
		変更											
	2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
指標1		災害時避難者対応率	%	88.8	R1	100	R6		101.4	○	あり なし	各地区の地域防災施設整備事業により地区の避難機能を補完・強化した。この結果、避難施設の収容可能人数が増加し、赤間地区の災害時避難者対応率が上昇した。	—
指標2		避難時間の短縮	分	23	R1	12	R6		12	○	あり なし	地域防災施設(防災拠点)等の整備により避難可能な場所までの避難時間が短縮された。避難時間の短縮により、災害発生初動時において住民の安全性が高まり、迅速な避難が可能となった。	—
指標3		地区人口	人	17,281	R1	17,281	R6		17,563	○	あり なし	都市基盤整備による良好な生活環境への期待感や交流機会の創出が複合的に作用し、地区の魅力が高まったことから、本地区の人口が増加した。事業効果を継続的に検証するため、今後も人口動態を注視する必要がある。	—
指標4		地域交流スペースの利用者数	人/月 (延人数)	426	H30	476	R6		311	△	あり なし	地域交流スペースの利用者数は新型コロナウイルス感染症の影響により一時的に減少したものの、回復傾向にある。地域交流施設整備事業による地域の交流を図る環境の整備は、地域住民や学生との連携機会や地域の賑わい創出に寄与している。	令和10年6月
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1	防災対策の強化についての不満度(不満度の改善)	%	34	R1			25				地域防災施設整備事業や防災学習事業等の災害対応力向上を図る本計画の実施により、防災対策の強化について不満をもつ市民の割合が減少した。	—
	その他の数値指標2	地価上昇率	%	100	R1			106				本計画の取組みは間接的ではあるが、赤間地区の魅力向上を通じ、地価上昇に寄与したと考えられる。	—
その他の数値指標3	宗像市東部観光拠点施設(赤馬館)利用状況	人	59,860	R1			61,695					本計画で実施した都市基盤等の整備や交流促進事業等の取組みは、地域の交流促進に相乗効果をもたらした。赤馬館の利用回復を含む地域の賑わいに寄与した。	—
4)定性的な効果発現状況													
5)実施過程の評価				実施内容			実施状況			今後の対応方針等			
	モニタリング			—			都市再生整備計画に記載し、実施できた			—			
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			—			
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			—			
	官民連携による取組			—			都市再生整備計画に記載し、実施できた			—			
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			—			
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			—			
持続的なまちづくり体制の構築			—			都市再生整備計画に記載し、実施できた			—				
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			—				
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			—				

様式2-2 地区の概要

赤間地区(福岡県宗像市) 都市再生整備計画事業の成果概要								
	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 災害に強い都市基盤を整備するとともに、恵まれた教育環境や人々の交流が盛んな環境を活かし、地域住民と学生らが連携する場所や機会を創出することで地域の活性化を図り、市民らが安心して暮らせる魅力あるまちづくりを目指す。 目標1: 地域防災拠点等の整備による災害対応力の向上 目標2: 狭隘な道路整備により通学路や災害時の避難経路の安全性を向上させることで、市民らが安心して生活できる環境の整備 目標3: 恵まれた教育環境を活かした地域活動や人々の交流を促進することで、魅力あるまちづくりを推進	災害時避難者対応率	単位: %	88.8	R1	100	R6	101	R6
	避難時間の短縮	単位: 分	23	R1	12	R6	12	R6
	地区人口	単位: 人	17,281	R1	17,281	R6	17,563	R6
	地域交流スペースの利用者数	単位: 人/月(延人数)	426	H30	476	R6	311	R6

赤間地区地域防災施設整備事業

赤間14号線道路改良事業

宗像

<凡例>
都市再生整備計画の区

■基幹事業（地域生活基盤施設）
赤間文教町地区地域防災施設整備事業

■基幹事業（公園）
熊越池公園再整備事業

■提案事業（地域創造支援事業）
地域交流施設整備事業

■提案事業（まちづくり活動推進事業）
防災学習事業

■関連事業 特別支援教育強化事業

■関連事業 大学連携強化事業

■提案事業（事業活用事業）
事業効果分析調査

防災学習事業

大規模災害を想定した薪割りの様子

疑似避難生活体験(段ボールベッド組立て)

赤間地区地域防災施設整備事業

赤間14号線道路改良事業

地域交流施設整備事業

熊越池公園再整備事業

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災施設(防災拠点)等の整備により、避難施設の収容可能人数の確保や避難時間の短縮等が図られ、災害対応力が向上している。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により人々の生活や価値観が変容した時代の流れの中、地域交流施設整備等の地域との連携を強化する取組みにより、宗像市全体が人口減少にある中で地区人口が増加するなど、まちの魅力が向上している。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、家庭、地域がそれぞれの教育に対する役割を発揮し、互いに連携しながら地域全体で子どもたちの学びと成長を支える環境づくりを推進する。 ・更なる地域の防災力強化を図るため、地域住民と協働し、防災意識を高める意識啓発や地域の防災活動を支援する。 ・整備した地域交流施設を含め、多世代が参加できるイベントの企画や、大学と連携したプログラムを実施するなど、地域交流スペースを活用した地域コミュニティの活性化を促す。